

あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房
 広報 VOL.49 JAN 2020
 編集 あいかわ工房編集委員会
 発行責任者 熊谷直丈
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
 TEL 046-281-1157

謹賀新年



令和二年元旦

明けまして

おめでとうござりますます

今年も皆様にとって良い年で



ありがとうございますより

お祈り申し上げます

利用者の皆さんが毎日元気に、目標を持って通所して頂き、お仕事を供給して下さい、企業の皆様、関係機関の皆様の御支援のもと、無事に一年を過ごすことが出来ました。

自然災害・人的災害の多い昨今ですが、今年も『安全』を最優先に、職員一同業務に邁進して参りますので、皆様のご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 あいかわ工房

所長 熊谷直丈

職員一同

年頭のご挨拶

理事長 瀧 亀久男

明けまして

おめでとうございます

年頭に当り皆様のご健勝とご多幸を心から
祈念申し上げます。

昨年を振り返ると時代が平成から令和に代わり、昭和が一段と遠くなりました。自然災害は一年に続き多発の年となりましたが、15号19号の台風並びに集中豪雨の影響は身近な出来事として、千葉県や箱根、隣接する相模原市、等々に大きな被害をもたらしました。愛川町の土砂崩れ現場を見たところ、他人事ではないと実感しました。幸い、あいかわ工房には直接の被害はありませんでしたが町全体では1000人近くの方が避難所に行ったとの事です。私たちもこれからの対策、心構えが大事であると痛感しております。明るい出来事としては、有言実行の見本となった2019年ラグビーワールドカップにおける日本代表チームの活躍がありました。

新語・流行語大賞の年間大賞として選ばれた『ワンチーム』については、私たちの事業でも参考にしたい考え方ではないかと思えます。今年は夏季オリンピック・パラリンピックが日本で開催されます。平和な世界が訪れ継続する事をみんなで願い、実現したいものです。

今年の子年です『子年は繁栄』という諺もあり、希望のある明るい年となるよう、あいかわ工房職員一同努力して参りますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



11月5日 屋外研修は富士サファリパークへ行きました。福祉バスでそのまま猛獣の放し飼いエリアに入りました。パン作り体験工房で思いおもいに生地をこねて帰りに焼き上がりを貰いました。動物とのふれあいの楽しい一日を過ごすことが出来ました。

皆さんと共に

サービス管理責任者
武藤 育子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年も多くの皆様に支えられ、福祉サービスに関わらせて頂きましたこと感謝申し上げます。

日々の活動の中で感じていることは、あいかわ工房は素敵な力を持つているということだと思います。誰がというわけではなく、全体的な暖かい雰囲気になった心を少しずつ柔らかくしていくのです。

寡黙だった方が笑顔で会話できるようになったり、話すことが苦手だった方がみんなの前で歌を披露したり…。背伸びせず、ありのままに受け入れられ、認め合える空気がごく自然にあります。

『お仕事をしたい』という方たちが大勢いらつしやるので、作業はそれぞれの目標に向かって真剣に取り組まれています。おしゃべりすることなく黙々と作業する口常ですが、利用者さん同士のふれあい・職員とのふれあいを通して少しずつ表情が和らいでいることに気づかされ、そのままの自分で通所できるように頑張っていく姿に触れるととても嬉しくなります。みんなで作りに上げてきたこの雰囲気は壊れることの無いよう、利用者さんも職員も一人ひとりが尊重され大切にされる『あいかわ工房』であり続けたいと思っています。私も自分が出れることを精一杯頑張ります。

HAPPY BIRTHDAY



11月生まれ



12月生まれ



11月生まれ



12月24日 県の障害者雇用促進センターの方が見学に来られました。企業と就労関係の事業所との橋渡しのような立場の方で、色々なお話をし、皆さんが作業しているところを、時間をかけて見て行かれました。感想を伺ったところ、作業と休み時間がはっきりしていて、作業については皆さんが誇りを持って仕事をされている。と仰っていました。



所内では二ヶ月に一回避難訓練をしています。



12月18日 県の防災センターへ体験実習に行きました。消火器の使用方法・強風の体験・地震の揺れ体験 特に地震の揺れは、去年から縦揺れが加わりました。東日本震災と同じ揺れを再現しているので、手摺に掴まっているのがやっとなかったです。周囲はスクリーンになっていてビルが傾いて襲い掛かって来るリアルさは本当に怖さを感じさせてくれました。とても良い体験学習になりました。毎年、利用させて頂いています。



自分の身は自分で守る

『災害は忘れた頃にやってくる』と言われるのは昔の事、今では『忘れない内にやってくる』地球温暖化など色々なファクターによって気候変動から海水温上昇による台風の高発、海面上昇など自然災害が多くなっています。障がいを持たれた方の中には、お話をするのが苦手だったり、上手く言葉が出て来ない方がいらっしやいます。

でも、災害に遭った時に、自分の状況を言ったり、助けを求めることが出来なければ命にかかります。あいかわ工房では毎月一回午後から みんなの時間 を作って、その都度テーマを変えて話し合いやゲーム・カラオケなどお話をチャンスを作っています。また、ご近所のお付き合いの大切さもお伝えしています。

なかなか自分から話すことが苦手な方の多いことを皆様にはご理解いただいで、接して頂くことをお願い申し上げます。

編集後記

今年は十千十二支のトップ甲子から数えて37番目の庚子(かのえね)に当たります。庚子は変化が生まれる状態、全く新しいことにチャレンジするのに適した年。と言われています。

利用者の皆さんと共に私達も健康にチュー意して明るく楽しい、あいかわ工房を作り上げ毎日を新しい気持ちでお仕事にチャレンジしてまいります。

毎日使うパソコンではマウスが今年も大活躍です。



